

12 参加・宿泊の手続き

(1) 大会申込について

- ① 大会参加費 4,500円 / シャトルバス利用代 500円 (利用希望者)
- ② 参加申込方法
参加者は「参加申込書兼宿泊申込書」に必要事項を記入し、令和3年4月19日(月)までに参加費及びシャトルバス利用代を添えて、各地区(支部)取扱責任者に申し込んでください。
なお、各地区(支部)、および各県事務局におかれましては、別紙「福島大会参加取りまとめ依頼書」により、事務手続きをさせていただきますようお願い申し上げます。

(2) 宿泊の申込について

株式会社JTBが取り扱います。別紙「ご宿泊プランのご案内」をご参照の上、お申込みください。

13 参加上の留意点

- (1) 参加申込後の変更は、各県小学校長会事務局を通して福島県小学校長会事務局に【FAX】にてご連絡ください。
- (2) 「大会要項」は、大会第1日目の全体会場受付で、県ごとに各地区(支部)取扱責任者様にお渡しします。「大会集録」は、大会終了後に各地区(支部)取扱責任者様宛てにお送りします。
- (3) 参加申込後に取消があっても、「参加費」は返金できません。但し、「大会要項」は各地区(支部)責任者にお持ち帰りいただきますので後日お受け取りください。
- (4) とうほう・みんなの文化センター周辺には飲食店がありません。福島駅周辺等の飲食店をご利用ください。
- (5) 会場周辺の駐車場は、限られています。できるだけ相乗りするか公共交通機関・シャトルバスをご利用ください。

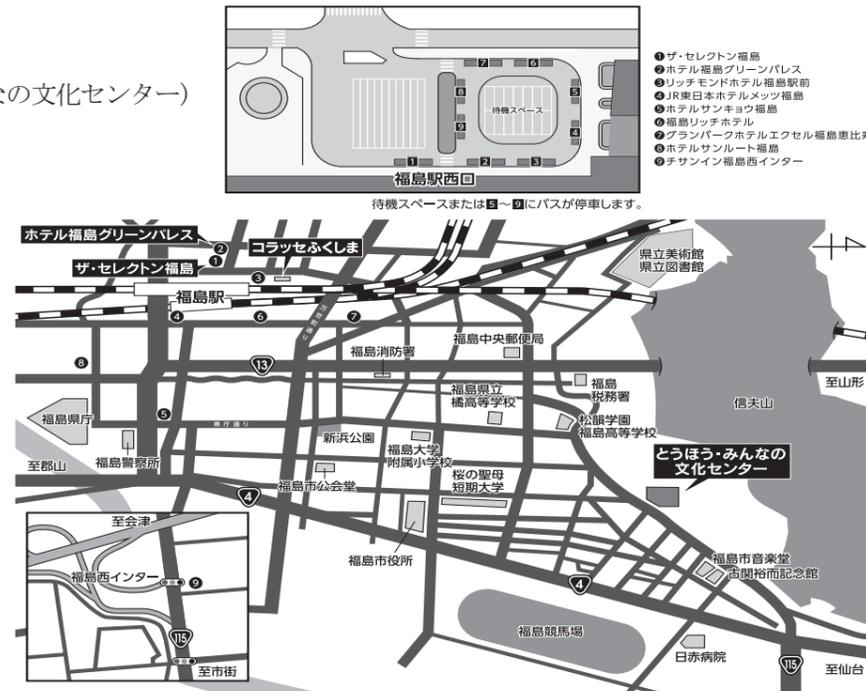
14 交通案内

【1日目】全体会
(福島駅～とうほう・みんなの文化センター)

- ◆車の場合 約12分
(敷地内駐車場約450台)
- ◆大会専用シャトルバス 西口バス乗降所より11:50から約10分間隔で運行。最終受付時間12:40予定。乗車希望者は別紙申込書に記入の上、受領証兼乗車証をお受け取りください。乗車時に乗車証をご提出いただけます。

【2日目】分科会
(福島駅～分科会会場)

- 右図をご参照ください。会場までは、できるだけ公共交通機関か相乗りでお越しください。
- お車でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用ください。(自己負担)



大会実行委員会事務局 〒960-8254 福島市南沢又字柳清水 20 清水小学校内 事務局長 松野光伸 TEL024-557-0135 FAX024-558-4983 mail mitsunobu.matsuno1@fukushima-city.ed.jp	福島県小学校長会事務局 〒960-8107 福島市浜田町 4-16 富士ビル内 事務局長 須田 尊 TEL024-534-5411 FAX024-531-1195 mail fsk-e-kochokai@amail.plala.or.jp
--	---

令和3年2月26日

東北連合小学校長会会員 各位

東北連合小学校長会
福島大会実行委員会



令和3年度 第61回東北連合小学校長会研究協議会 福島大会開催要項 第50回福島県小学校長会研究協議会福島大会 ご案内

早春の候、会員の皆様にはご清栄にて、鋭意学校経営に取り組んでおられることと存じます。さて、第61回東北連合小学校長会福島大会につきましては、令和2年11月発行の会報第154号でご案内いたしましたように、福島市を会場として開催いたします。宮城県の成果を踏まえ、東北の小学校教育がより一層充実・発展することを期して準備を進めております。つきましては、コロナ禍ではございますが、会員各位の多数のご参加をいただきたくご案内申し上げます。

- 1 大会主題 「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る
日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
- 2 副主題 「たくましく生き ともによりよい未来を創っていく
子どもを育てる学校経営と校長の在り方」
- 3 大会趣旨

東北連合小学校長会は、平成25年度から研究主題を「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」とし、「東北は一つ」を合い言葉に、明確な理念に基づき、地域住民の信託に応えるべく、地域に根ざした創意と協働による特色ある研究を組織的・実践的に積み重ね、多くの成果をあげてきた。令和2年度に、全国連合小学校長会研究協議会の研究主題が刷新されたことを受け、東北連合小学校長会は、令和3年度から新研究主題「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」の基、研究に取り組んでいくこととした。

今後、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境が大きく、急速に変化し、予測が困難な時代となってくる。急激な社会の変化の中では、一人一人が自らの能力や可能性を信じ、学習したことを生活や社会における課題解決に生かし、未来を拓くことのできる力が求められる。また、ともに生きるあらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな社会を創るために、様々な社会変化を乗り越えていく「生き抜く力」の育成も課題の一つである。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う原子力発電所事故から11年が経ち、私たちは、東北の絆をさらに強めながら「教育の復興」から「教育の未来・子どもたちの未来の創造」へと取組を進めてきた。そして今、子どもたちが未来社会を切り拓き、たくましく生きるために必要な資質・能力の育成を目指した教育改革が進められている。学校においては、いじめや不登校の問題、貧困や虐待の増加、情報モラルの欠如や規範意識の低下など、様々な問題が顕在化している。さらに、新型コロナウイルス感染症への対応並びに学校再開後の子どもたちの健康安全の保持及び学力保障など多岐にわたる課題に直面し、新たな学校教育の在り方を模索し、確立していくことが求められている。また、情報化、自然災害等により不確実性が増す時代を生きる子どもたちに、多文化共生、AIに代替できない人間に求められる能力、予測不能な想定外と向き合う能力などを育成するために、新学習指導要領の趣旨を踏まえた「生きる力」を育む取組を充実させていかなければならない。

私たち校長は、これまでの趣旨を生かし、自校の課題を明確にする必要がある。そして、リーダーシップを発揮して主体的・組織的に研究を進め、課題の解明に努めるとともに、その成果を共有し、学校経営上の課題解決に生かしていかなければならない。これらの継続的かつ実践的な研究の累積は、本研究主題・副主題を究明すること、さらには、新しい課題に応える教育の推進につながり、東北各県教育の目指す方向に寄与するものと確信する。

以上のことを踏まえ、第61回東北連合小学校長会研究協議会福島大会は、大会主題の理念をより一層推し進めることを目指し、副主題を「たくましく生き ともによりよい未来を創っていく子どもを育てる学校経営と校長の在り方」とし、学校経営の責任者である校長の果たすべき役割と指導性の在り方について究明しようとするものである。

- 4 主 催 東北連合小学校長会
 5 主 管 福島県小学校長会
 6 後 援 福島県 福島県教育委員会
 福島市 福島市教育委員会 川俣町 川俣町教育委員会
 福島県市町村教育委員会連絡協議会
 日本教育公務員弘済会福島支部 日本教育会
 福島県中学校長会 全国連合小学校長会
 7 大会期日 令和3年7月1日(木)～2日(金)

8 大会日程
 【1日目】7月1日(木) とうほう・みんなの文化センター 大ホール
 8:30 9:15 11:00 12:40 13:20 14:10 14:30 16:30 17:00 17:40

理事会 受付	東北連小理事会	休憩	受付	開会行事	休憩	シンポジウム	閉会 行事	分科会 打合せ
-----------	---------	----	----	------	----	--------	----------	------------

【2日目】7月2日(金) 各分科会会場
 8:30 9:00 12:00

受付	分科会 (研究協議会)
----	----------------

9 シンポジウム

- ◇ テーマ 「震災から10年 『復興』から『新たなステージ』へ」
 ～未来を生きる子どもたちへのメッセージ～
- ◇ シンポジスト 「金水晶酒造店 4代目蔵元 斎藤 美幸 氏」
 「福島りんご研究会 会長 阿部 幸弘 氏」
 「土湯観光協会 観光地域づくり事業部部長 渡邊 利生 氏」
 (ホテル山水荘 代表取締役兼企画室室長)
- ◇ コーディネーター 「福島コミュニティー放送株式会社
 (FM-POCO) 放送局長 國分久美恵 氏」

10 会 場

【1日目】全体会 とうほう・みんなの文化センター 大ホール
 〒960-8116 福島市春日町5-54 TEL024-534-9191
 【2日目】分科会 コラッセふくしま
 〒960-8053 福島市三河南町1-20 TEL024-525-4089
 ザ・セレクトン福島
 〒960-8068 福島市太田町13-73 TEL024-531-1111
 ホテル福島グリーンパレス
 〒960-8068 福島市太田町13-53 TEL024-533-1171

分科会名	会 場		予定人数
1 経営, 組織・運営	コラッセふくしま	3階 企画展示室	90名
2 評価・改善	コラッセふくしま	4階 多目的ホールA	68名
3 知性・創造性	コラッセふくしま	4階 多目的ホールB	77名
4 豊かな人間性	コラッセふくしま	5階 研修室	60名
5 健やかな体	ザ・セレクトン福島	西館3階 安達太良I	68名
6 研究・研修	ザ・セレクトン福島	西館3階 安達太良II	68名
7 学校安全	ザ・セレクトン福島	本館3階 吾妻I・II	80名
8 危機対応	ホテル福島グリーンパレス	2階 瑞光 西	79名
9 自立と社会性	ホテル福島グリーンパレス	2階 瑞光 東	74名
10 社会との連携・協働	コラッセふくしま	5階 小研修室	62名

11 分科会構成

領域	分科会	研究課題	研究の視点		担当県
I 学校経営	1 経営, 組織・運営	目指す学校づくりと組織・運営の活性化	視点1	学校の課題を明確にした学校経営の推進	宮城県
			視点2	教職員の参画意識を高揚する活力ある組織・運営	福島県(岩瀬)
	2 評価・改善	教育活動の活性化を図る学校評価と学校運営の改善	視点1	教育の質の向上を目指した学校評価・運営の構築	岩手県
			視点2	学校の活力を高める学校評価・教職員評価	福島県(南会津)
II 教育課程	3 知性・創造性	知性・創造性を育む教育課程	視点1	知性・創造性を育む教育課程の編成	山形県
			視点2	知性・創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善	福島県(伊達)
	4 豊かな人間性	豊かな人間関係を育む教育課程	視点1	他と共に、よりよく生きるための人権感覚の育成	青森県
視点2			豊かな心を育成する教育課程の編成・実施・評価・改善	福島県(郡山)	
	5 健やかな体	未来に夢を描き生きる力を育てる健康教育・環境教育	視点1	心身の健やかな成長を目指す教育課程の編成・実施・評価・改善(健康教育)	秋田県
			視点2	体験を通して実践的な態度を育む教育課程の編成・実施・評価・改善(環境教育)	福島県(石川)
III 指導・育成	6 研究・研修	学校の教育力を高める研究・研修	視点1	実践的な指導力を高める校内研修体制の推進	宮城県
			視点2	将来への夢や展望, 参画意識をもたせる研修の推進と職員の育成	福島県(いわき)
IV 危機管理	7 学校安全	安全・安心な学ぶ環境づくり	視点1	自ら判断し行動できる子どもを育てる安全教育の推進	岩手県
			視点2	地域等との連携・協力を図った意図的・計画的な取組の推進	福島県(両沼)
	8 危機対応	防災教育や自然災害への対応	視点1	自然災害の特性を理解し, 自ら判断し行動できる防災教育の推進	山形県
			視点2	学校単独の取組や他校種, 地域等と連携した防災対応の推進	福島県(田村)
V 教育課題	9 自立と社会性	自立と社会参加を図る教育の推進	視点1	自立と社会参加を図る特別支援教育の推進	青森県
			視点2	未来への夢や志を育むキャリア教育の推進	福島県(北会津)
	10 社会との連携・協働	家庭・地域・異校種等との連携・接続の推進	視点1	家庭・地域と連携し, 地域に貢献する学校づくりの推進	秋田県
			視点2	幼保・小・中等との連携と円滑な接続のための組織的な取組の推進	福島県(相馬)